

厚生労働大臣 殿

東京都大田区大森西5丁目21番16号
開設者

学校法人 東邦大学
理事長 伊藤 元

東邦大学医療センター大森病院
特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	90 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	194人	166人	338.6人	看護業務補助者	58人	診療エックス線技師	0人	
歯科医師	3人	1人	3.9人	理学療法士	7人	臨床 検査 衛生 検査 技師	臨床検査技師	87人
薬 剤 師	45人	1人	45.6人	作業療法士	2人		衛生検査技師	0人
保 健 師	170人	0人	170人	視能訓練士	2人	その他	0人	
助 産 師	38人	0人	38人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看 護 師	677人	16人	686人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	4人	
准看護師	11人	3人	13.5人	栄 養 士	2人	その他の技術員	6人	
歯科衛生士	5人	0人	5人	歯科技工士	0人	事 務 職 員	84人	
管理栄養士	13人	0人	13人	診療放射線技師	43人	その他の職員	38人	

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位間で算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	854.7人	2.6人	857.3人
1日当たり平均外来患者数	2270.5人	37.9人	2308.4人
1日当たり平均調剤数	外来 375.6剤	入院 956.7剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	34人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/>	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input type="radio"/>	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input type="radio"/>	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/>	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/>	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/>	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input type="radio"/>	人
・顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/>	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/>	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/>	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input type="radio"/>	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/>	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input type="radio"/>	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input type="radio"/>	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input type="radio"/>	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input type="radio"/>	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/>	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	<input checked="" type="radio"/> ・無	19人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/>	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/>	人
胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> ・無	10人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/>	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/>	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/>	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/>	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/>	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/>	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/>	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/>	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> ・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/>	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/>	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/>	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/>	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/>	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	24人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	7人
・多発性硬化症	18人	・ウェゲナー肉芽腫症	2人
・重症筋無力症	17人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	64人
・全身性エリテマトーデス	126人	・多系統萎縮症	14人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	24人	・膿疱性乾癬	2人
・サルコイドーシス	36人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・原発性胆汁性肝硬変	17人
・強皮症、 皮膚筋炎及び多発性筋炎	41人 14人	・重症急性膵炎	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	35人	・特発性大腿骨頭壊死症	48人
・結節性動脈周囲炎	9人	・混合性結合組織病	16人
・潰瘍性大腸炎	107人	・原発性免疫不全症候群	2人
・大動脈炎症候群	3人	・特発性間質性肺炎	9人
・ピュルガー病	14人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	4人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	4人	・原発性肺高血圧症	22人
・クローン病	27人	・神経線維腫症	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	39人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	5人
・アミロイドーシス	0人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	24人	・進行性筋ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	0人	・ウィルソン病	2人
・強直性脊椎炎	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・びまん性汎細気管支炎	1人	・ネフローゼ症候群	43人
・遺伝性(本態性)ニューロパチー	1人	・母斑症	1人
・自己免疫性肝炎	3人	・シェーグレー症候群	4人
・先天性血液凝固因子欠乏症等	4人	・多発性嚢胞腎	4人
・悪性高血圧	1人	・特発性門脈圧亢進症	5人
・肝内結石症	1人	・原発性硬化性胆管炎	1人
・ミトコンドリア脳筋症	1人	・ミオトニー症候群	1人
・成人スティル病	4人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○1.臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2.臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月 19回程度
剖検の状況	剖検症例数 70例 ・ 剖検率 7.8%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
経口胆道鏡による胆道疾患に対するNBIを用いた内視鏡診断能の向上に関する研究	五十嵐良典	消化器内科	500	補助 内視鏡医学研究振興財団
神経変性疾患に関する調査研究	岩崎 泰雄	神経内科	1,000	補助 厚生労働省
新規アポトーシス誘導薬の関節リウマチおよび悪性腫瘍治療への応用研究	川合 眞一	膠原病科	1,500	補助 文部科学省
難病治療のための高度DDS技術による創薬研究	川合 眞一	膠原病科	500	補助 文部科学省
関節リウマチの寛解導入を目的とした新規医薬品の導入・開発及び評価に関する包括的研究	川合 眞一	膠原病科	2,000	補助 厚生労働省
扁桃核内嗅髄海馬神経回路の側頭葉てんかんに対する抑制作用の研究	長尾 建樹	脳神経外科	700	補助 文部科学省
家庭用品臨床検査試験	伊藤 正俊	皮膚科	536	委託 厚生労働省
妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究「バースプラン普及のための産科医師の意識調査」	田中 政信	産婦人科	2,000	補助 厚生労働省
小児の造血障害疾患病像移行と残存造血能に関する基礎的研究	小原 明	小児科	1,400	補助 文部科学省
低出生体重児用ミルクと消化管機能に関する研究	宇賀 直樹	新生児科	1,200	委託 糧食研究会
植え込み型又はインプラント医療機器不具合情報の収集および安全性情報の提供のあり方に関する研究	勝呂 徹	整形外科	10,000	補助 厚生労働省
ヒト精巣組織からのヒト精子幹細胞Spermatogonial stem cellの分離及び培養の試み	小林 秀行	泌尿器科	500	補助 鈴木泌尿器医学振興財団
Isolation and culture of human spermatogonial stem cell from testicular tissues	中島 耕一	泌尿器科	5,000	Asia Pacific Society of Sexual medicine research grant
輸入真菌症等真菌症の診断、治療法の開発と発生動向調査に関する研究	渋谷 和俊	病院病理部	2,500	補助 厚生労働省
特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究	渋谷 和俊	病院病理部	2,000	補助 厚生労働省

計 15

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

誌名等	題名	発表者氏名	所属部門
Ann Hematol 2006;85:469-73	Prognostic significance of the serum phosphorous level and its relationship with other prognostic factors in multiple myeloma.	梅田正典	血液腫瘍科
日化療会誌 2006;54 : 535-7	原発不明腺癌に対するpaclitaxel とcarboplatin の併用化学療法	名取一彦	血液腫瘍科
日化療会誌 2006;54 : 221-6	癌薬物療法の現状と展望-造血器悪性腫瘍	倉石安廣	血液腫瘍科
専門医を目指すケースメソッドアプローチ 12 感染症(第4版) 日本医事新報社 2006 : 82-8	類粒球減少時に発症した呼吸困難を訴えて受信した56歳男性	名取一彦	血液腫瘍科
乳がん標準化学療法の実際 金原出版 2006 : 43-57	転移性乳がんに対する推奨化学療法	小林 直	血液腫瘍科
J Gutatn Pthol 33 : 207-215,2006	Expression profiles of melanocytic specific genes and proteind melanocytic nevus	橋本由起	皮膚科
臨床免疫・アレルギー科 46(6) : 630-639,2006	本邦皮膚科領域におけるdrug -induced hypersensitivity syndrome 108症例の臨床的検討	伊藤正俊	皮膚科
BRIT J DERMATOL 155 : 50-55,2006	Sensitive and rapid diagnosis of human parvovirus B19 Infection by loop-mediated is othermal amplification	山田ゆかり	皮膚科
東邦医学会雑誌54巻1号	中枢気道狭窄に対するステント療法	高木啓吾	呼吸器外科
日本シュミレーション外会誌14 : 17-22,2006	Usefulness of 201TICI SPECT for the evaluation of intratumoral embolization Analysis by dynamic SPECT	周郷延雄	脳神経外科
日本シュミレーション外会誌13 : 87-93,2006	The extent of the peri-tumoral hypoperfusion area seen by three-dimensional SPECT for malignant glioma	周郷延雄	脳神経外科
Neurosurg Emerg 11:192-199 2006	経静脈的持続局所線溶療法が有効であった脳静脈洞血栓症の1例	植草啓之	脳神経外科
脳腫瘍と外科 脳腫瘍手術の進歩と限界 149-153 2006	髄膜腫に対する術前腫瘍内血管塞栓術の効果判定 (Tl SPECTを用いて)	周郷延雄	脳神経外科
脳死・脳蘇生 18:46-51 2006	脳死判定における脳血流評価としてのXe-CTの有効性	本多 満	脳神経外科
Neurosurg Emerg 11 (1) :26-31 2006	くも膜下出血急性期におけるCT検査の有用性	本多 満	脳神経外科
pediatrics International48:599-603,2006	Gastrointestinal perforation in very low-birth weight infants	川瀬泰浩	新生児科
日本未熟児新生児学会雑誌18(2) : 209-211,2006	NO吸入療法-さらなる可能性の追求	宇賀直樹	新生児科
手術60 (5) 591-595	フレーム式リトラクター (可変式) 用いた術者単独で行う乳房温存手術	緒方秀昭	乳腺内分泌
別冊 NHKきょうの健康54-57,2006	「前立腺肥大症・前立腺癌」体への負担が少ないレーザー治療	中島耕一	泌尿器科